

研究機関名：旭川医科大学

承認番号	23102
課題名	肝細胞癌肝切除症例における術前肝線維化評価法の比較および術後アウトカムとの関連の検討
研究期間	西暦 2023 年 10 月 3 日 (実施許可日) ～ 2026 年 3 月 31 日
研究の対象	2019年1月から2023年3月までの間に旭川医科大学病院 肝胆膵・移植外科に通院または入院し、肝切除を受けた患者さん
利用する試料・情報の種類	<input checked="" type="checkbox"/> 診療情報 (詳細：年齢、性別、画像所見、血液検査結果、手術情報、病理検査結果 等) <input type="checkbox"/> 手術、検査等で採取した組織 (対象臓器等名：) <input type="checkbox"/> 血液 <input checked="" type="checkbox"/> その他 (利用予定日 (開始日 2023 年 12 月 1 日))
試料・情報の管理について責任を有する者	旭川医科大学 学長 西川 祐司
研究の意義、目的	高度な肝線維化は肝切除術後の腹水や黄疸の原因となるため手術リスク因子となり、さらに肝細胞癌治療後再発の原因ともなります。そのため、血液検査や画像検査により非侵襲的に肝線維化を評価する様々な評価法が提唱されていますが、どの方法がより信頼性が高いか、またこれらの評価法が肝切除後の肝再発を予測しうるかはわかっておりません。本研究では、各種肝線維化評価法の比較検討と肝切除後の残肝再発との因果関係を明らかにすることを目的とします。
研究の方法	期間中に当院で施行した肝細胞癌に対する肝切除症例の術前の採血結果やMRエラストグラフィにより肝線維化評価を行い、実際の摘出標本の病理学的な線維化との一致の程度、肝切除後の経過および肝内再発率を比較します。
その他	特記事項なし
お問い合わせ先	<p>本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。また、情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としませんので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。</p> <p>照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：研究責任者 所在地；旭川市緑が丘東2条1丁目1番1号 電話番号；0166-68-2503 メールアドレス；sshimada@asahikawa-med. ac. jp 研究責任者：旭川医科大学外科学講座 肝胆膵・移植外科学分野 島田 慎吾</p>